

青年 40名

(3) 研修内容

- 講義 「現代社会と野外活動」、「テント設営の理論と実技」、「野外活動と指導者」、「野外活動のプログラム」、「青少年団体の指導」、「天文と気象」
- 実技 「キャンプクラフト」、「ロープワーク」、「追跡ハイキング」、「海水浴と救助法」、「キャンプ・ファイア」

5 レクリエーション研修会

＝青少年教育実技指導者研修会

(レクリエーション応用講座)＝

(1) 目的

青少年教育指導者のレクリエーション実技指導技術の向上をはかるため、実技に関する専門的知識や技能及び指導法について研修し、その資質の向上をはかる。

(2) 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年9月25日～28日 3泊4日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象及び参加者数 教職員、社会教育関係者、社会教育関係団体・企業体・グループ・サークル等のリーダー、勤労青年 40名

(3) 研修内容

- 講義 「青少年の教育」、「レクリエーションの指導理論」、「青少年団体の指導」
- 討義 「レク指導のあり方」
- 演習 「レクプログラムのたて方」
- 実技 「つどいのもち方」、「ゲームと軽スポーツ」、「キャンプ・ファイアのもち方」、「ソングとその指導」、「フォークダンスとその演習」

6 集団宿泊指導担当者研修会

(社会教育関係)

(1) 目的

社会教育関係者が「集団宿泊研修」のより効果的な施設の利用と運営について研修し、あわせて青年の家について

の理解を深める。

(2) 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和55年11月19日～20日 1泊2日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象及び参加者数 社会教育主事、公民館主事、社会教育関係者、青年団体リーダー、青年を中心としたサークルのリーダー、企業体の研修担当者、子ども会・少年団体育成会リーダー（昭和55年12月から昭和56年11月までの間に当所を利用しようとする団体の指導者及び利用の有無にかかわらず、参加を希望する者） 32名

(3) 研修内容

- 講義 「集団宿泊研修の意義」、「青年の家における研修」
- 実技 「たのしいつどいのためのダンス」、「キャンドル・セレモニー」

7 集団宿泊指導担当者研修会

(学校関係)

(1) 目的

学校教育と社会教育との連携を具体的に推進し、児童生徒の全人的育成に資するため、青年の家での集団宿泊指導の効果的な運営・内容・方法について研修する。

(2) 期日、会場、参加者

- ア 期日 昭和56年1月27日～29日 2泊3日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象及び参加者数 昭和56年4月1日から昭和56年7月9日までの間に、海浜青年の家を利用しようとする小・中・高等学校の引率指導者及び利用の有無にかかわらず当研修会に参加を希望する教職員（生徒指導主任、学年主任等） 41名

(3) 研修内容

- 講義 「学校教育と集団宿泊研修」、「青年の家における研修」、「野外活動の理論と実技」
- 実技 「キャンドル・セレモニー」、「野外活動」
- 事例発表（小・中・高等学校教員 各1名）
- 演習 「研修プログラムの編成」